

同窓会報

NO.43
1997.2

発行——山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会事務局 TEL 0238—22—0091



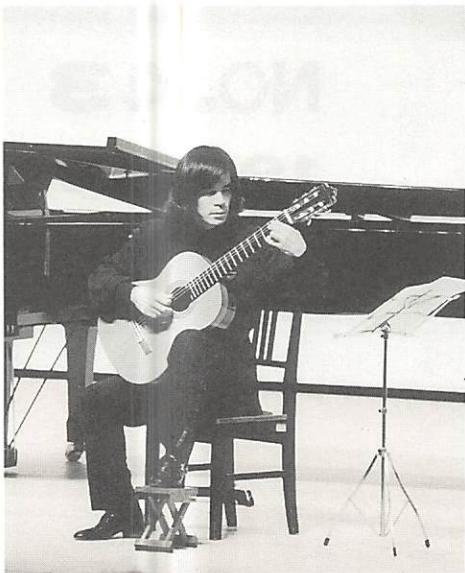
記念音楽会「莊村清志と若き演奏家のコンサート」 1996.9.13

同窓生の皆さんお元気ですか。師走に入り、正門の創立者の胸像には箱型の覆いが掛けられていますが、その丸い屋根の上では小春日和の柔らかな日溜まりが遊んでおります。▼『ピカ～光る学園づくりを目指そう』でスタートした平成八年度の学園の様子をご報告致します。

▼校内外の美化、奉仕活動が認められ、生徒会が全国表彰を受賞。部活動では、弓道部・卓球部・陸上部・書道部が全国大会に出場。演劇部・吹奏楽部・美術部も県上位の活躍。▼昨年度から始まった土曜講座は「素敵にマイライフ」のもと、多彩に展開され、その一部を全国からおでの先生方にご覧頂きました。▼PTA活動も新たな一步を踏み出しました。従来の組織に加え、広報委員会、制服リサイクル委員会が発足。支部PTAの組織も、在校生の保護者会の枠を越え、卒業生の保護者等にも入つて頂く方向で動き出しております。▼立派に整理なされた九里学園同窓会々員名簿を捲り／＼年賀状を書きました。大変利用しやすく、感謝しております。同窓生の皆様には母校への一層のお力添えをお願いし、結びと致します。

学園
近況

教頭
酒井脩一



記念音楽会

いとしげに音をひき出す

創立九十五周年記念音楽会は、そ
の重みにふさわしいギターの名手『莊
村清志』の充実した演奏会でした。

前半、三人の若手演奏家による生
き生きとした演奏ぶりは、まるで若
者を強くひきつけるボピュラーミュー
ジシャンのよう、従来のクラシッ
クのイメージとは異なる、軽やかさ
と親しみ易さがあり、どの年代をも
惹きつける楽しいものでした。

そして莊村清志氏のギター演奏。

二十年程前、氏が講師を務めるNH
Kのギター講座の番組を欠かさず見
ていた私にとって、生で触れるその
音色は心待ちにしていました。一曲一曲が當時と変わらず静けさの
中に込められる情熱的な音色であり、
また、氏がギターを優しく、やわら
かく包み込んで、

六月三十日(日)ホテルサンルート米沢
で、同窓会総会が行われました。実行委
員は、卒業年が〇と一のつく学年で、一
二〇名の参加がありました。

総会では、会員の協力のもと、待望の
同窓会員名簿が出来たという報告があり、
これを機に地域、クラス、学年の輪を広
げようという呼びかけがなされました。
九里祭参加では、作品展示の他に軽食の
売店を試みる案が出されました。

第二部は同窓生のたつての願いで、九
里茂三先生の講演となりました。「ちか
ごろ思う事」と題してお話をうかがいま
した。しばらくぶりにお顔を拝見し、そ
の風貌や重厚な語りに、高校時代の体育
館での講話がよみがえりました。

懇談会の前半は、平さん一行の「港太
鼓」が響き、学年毎の歌声では、参加し
た人の満足感がうかがえるものでした。
「元気をいただきました。」という喜び
の声で、今年度の総会は成功裡に終了い
ました。

演奏曲目は耳慣れ
たものだけでなく、
氏が敬愛しておら
ます。



元気をいただきました

同窓会総会

1996.6.30

れられた作曲家・武満徹氏への追悼の意が込
められた曲をこの機会に初めて演奏され
たことは、価値ある演奏会となつたよう
に思います。

思い返せば母校の創立記念音楽会では
多くの「本物」に触れさせて頂いてきま
した。どの音楽家の方々も世界で活躍さ
れる「時代の芸術家」ばかりです。舞台
と客席で共にするひとときは、やがて時
を経てそれぞれの人生の中でふと甦るこ
とがあると思います。本物は、そんな時
にきっと光り輝いて心を潤してくれる宝
となつていくように感じます。

母校の芸術活動が、米沢市の文化の向上
を今後益々促すようなものであることを
期待してゆきたいと思います。

母校の芸術活動が、米沢市の文化の向上
を今後益々促すようなものであることを
期待してゆきたいと思います。

子をかかえた私は
にとつて、やつと抜け出
せたこの束の間のひとときがとても印象
的であり忘れ得ぬ時間となりました。

母校の芸術活動が、米沢市の文化の向上
を今後益々促すようなものであることを
期待してゆきたいと思います。

あ
こ
が
れ
の
莊
村
ギ
タ
ー

(S54年卒)
菅野和子



(S 23年卒)
遠藤文子御夫妻

さっぱり チャッカリ 付き合い上手

遠藤綺一郎

妻の買物は、あれこれと迷うことがない。吊しの洋服を買う時でも、立つてずらつと眺め、目星をつけるとつかつかと近付いて、さっさと決めてしまう。どうもさっぱりしている。それでいて後悔と人種ではないかと思う。私たち子供が皆よそに住んでいるので、いま夫婦ふたり暮らしであるが、四十二年前嫁に來た時には、私の両親と弟妹とも計七人がござんごちやいた。さぞ大変なはずだったが、持ち前の性格で、舅や大勢の弟妹とも折れ合い、嫁姑戦争も起こさず、それでいてチャッカリ思い通りに家政を引張ってきた。母は病弱で嫁任せ、私も給料はいちおう全部妻に渡していたから、やりよい点もあつたにしろ、学校の事務室に勤め、家事を

くなつたが、妻はどちらへも心を尽くして看護し、旅立たせてくれた。父の場合は、まだ酒が旨いのだから大丈夫と私は思っていたのに、妻の眼は違ひ、定年前だつたが勤めを辞めさせていた。丁度一年後に発病、妻は時間を気にせず心残りなく看病出来たのである。

妻は近所付き合い

が得手で、私は助かる。どういうものか、お婆ちゃんに好かれ、よく呼んできて、一緒にお茶を飲んでいた。妻は時々私に漢字を確かめ、その時ばかりは夫を尊敬して頼る。

品切れ、完売

軽食売店 玉の汗

こなし、三人の子を育て、細い体で病気もせずにやってくれたことは、有難い仕合わせであった。

父は昭和六十三年、母は平成七年に亡くなりました。妻はどちらへも心を尽くして看護し、旅立たせてくれた。父の場合には、まだ酒が旨いのだから大丈夫と私は思っていたのに、妻の眼は違ひ、定年前だつたが勤めを辞めさせていた。丁度一年後に発病、妻は時間を気にせず心残りなく看病出来たのである。

九里祭 参 加

(S 31年卒) 横登志子

九月一日母校の九里祭に同窓会が参加して四回目となりました。私は何もわからずに初めに参加することになりましたが、先輩の方々の温かいアドバイスでとても楽しくさせていただきました。

先ず展示物ではお花・パワーワーク・着物・書・革工芸・文化刺繡等を出品していました。販売コーナーでは、手作りの草木染めのハンカチなどが出ました。これには何度も学校に集まり、手塚先輩の熱の入った指導のもとで、素晴らしい作品が出来上がりました。

今回初めての試みとして軽食コーナーが設けられま

した。カレーや玉こんにゃく・アイスコーヒー・ジュース等を作つてみると、本番では大変美味しいものが出来上がりました。カレーライスなどは早々に品切れました。これは飯豊支部の方々からの手助けをいたしました。これは飯豊支部の方々からの手助けをいたしました。試食会を行い、とても暑い日で玉の様な汗を拭きふきでしたが、久しぶりの母校で先輩や在校生の後輩諸妹の姿に接して、とてもさわやかな気持ちになりました。

来年はもつともっと同級生の皆さんをお誘いし、母校の学園祭を盛り上げたいと思っております。



再会の喜び満ちる 精養軒

(上野)



関東支部総会

(S 32年卒)

金田 明海

平成八年六月十五日(土)十二時より上野精養軒で、関東支部の集いと新卒業生の激励会が行われました。当日は天候にも恵まれ、学園長、竹田会長、先生方をお迎えすることが出来ました。恩師、旧友、新卒の方々が増すごとに会場は、「卒業以来ね」、「何十年ぶり」、と手を取り涙して再会を喜び合う光景になりました。会長や先生方の挨拶そして新卒生の紹介後、懐しい校歌を全員で合唱し、学生の頃に返ったひとときでした。

二部は、落語家の金太郎師匠の楽しい司会ではじまり、シャンソン歌手の松本かずみさんの美声に酔いました。踊りをする人や、新卒生の若々しい話で、年の差も感じない楽しい時間が過ぎて行きました。

この日のために実行委員十六名は、茨木、千葉、埼玉と遠い所より集まり、準備のために会合を重ねました。この総会まではハグニングの続出で、辞退も考えたりしました。そんな折、大先輩の西村様より二冊の詩集を送つて頂き、励ましに喜んで頂きました。苦労された方だけに慈愛の深さが身にしみ感激致しました。

出席の皆様に喜んで頂き、成功出来たことは、古川先生や支部役員の方々の協力のお陰です。親身になつて私の立場を守つてくれた実行委員の仲間に感謝しています。母校が創立九十五年を迎えるこの年に一生に一度の経験をさせて頂き、お金

では買えない友情を感じています。旅行やお話し合いと長いお付合いの約束も出来ました。

針を持つことが好きで九里で基礎を学び、卒業出来たお陰で私は刺子の仕事をしていると感謝しております。

私の

高校時代

(S 52年卒)

田村 千代子
旧姓 堤

「高校時代」ついこの間のことのようについていましてみればもう二十年以上も前のことなのだと、今さらながら驚いています。当時の事は今

学業成績を中心に入を判断するのではなく、個人の能力を尊重し伸ばしてくれることを心から誇りに思っています。当時の学友、多くの先生方に卒業から二十年以上たつた今、改めて言いたい気持ちです。こんな私に心の宝物をありがとうございました。

私は、現在母親として、子育てまつさい中です。PTA活動を通じ、多くのお母さん方と知り合いになりました。その中でも昔の経験を生かしながらいます。

(千葉 鴨川市在住)

いつも

輝いていました

でもはつきりと覚えていました。私は入学時「私立校」であるということに、ある種の劣等感を持っていた一人でした。その私を変え、心中にたくさんの中を残してくれたのが女子校で過ごした三年間です。

私の場合その中心となつたのは生徒会活動でした。思い出は数えきれない程あります。特に生徒会長時代に行われた創立七十五周年記念文化祭での体験は、

私が多くの自信をつけてくれたよう思います。当時の私は、自分で言うのもへんですが、何事にも前向きに取り組んでいたように思います。心はいつも輝いていました。それにしても、私などが生徒会長という大役をやっていたものだと思います。それは決して私一人の力によるものではなくたことを、卒業後の生活の中で改めて痛感しました。



いつも

輝いていました

でもはつきりと覚えていました。私は入学時「私立校」であるということに、ある種の劣等感を持っていた一人でした。その私を変え、心中にたくさんの中を残してくれたのが女子校で過ごした三年間です。

私の場合その中心となつたのは生徒会活動でした。思い出は数えきれない程あります。特に生徒会長時代に行われた創立七十五周年記念文化祭での体験は、

職場訪問

花が最高の美しさで いられるよう 手伝っているのです

今日は大町四丁目にある「花のえちごや」さんをお訪ねしました。師走も半ばという時節柄、店頭には大きな門松、店内は甘い花の香りに包まれ、真赤なポンセチア、色とりどりのクンシランやシクラメンなどが並び、サンタクロースのお人形も出迎えてくれました。お客様の対応に忙しいのはえちごやさんの若奥様、鈴木琴路(旧姓井上)さんです。

琴路さんは昭和四十三年米沢女子校を卒業され、岩渕眼科に勤務、いけ花を習い始めフラワーデザインの教室に通つたのがきっかけで今のご主人と知り合い、結婚されたそうです。お花やさんを継ぐべく東京のフラワーデザイン学校で一年間勉強されてゴールインなさいました。

初代のおじいちゃんが新潟出身という事



花のえちごや

鈴木琴路さん
(S43年卒)

で名付けられた越後花やさん、その三代目を継ぐというプレッシャーもあつたそうですが、持ち前の明るさと根性、それによりお花が大好きで一輪の花も枯らしたくないという気持ちで頑張つてこられたそうです。

高校時代の思い出

は、特別活動という時間があって、新庄の泉ヶ丘分校の小学

生と文通をし、一度だけクラスの有志で

訪ねて行つた事があつたそうです。のどかな山村で生徒数三十七、八人という小さな分校だったそうです。子供達にとっても歓迎され、遊びを通して触れあつた素直な眼の輝きが忘れられず、すばらしい感動を覚えたとの事でした。女子校で学んだ心の豊かさ、人の温かさは人生の宝物とおっしゃつておられました。

お店をやりながら四人の子供さんを育てられ、いけ花教室のお手伝い、そして自らもフラワーデザインの教室を持つといふ忙しい毎日の中で、今年はフラワー

デザインの山形ブロック大会で入賞、東北ブロック大会出場というすばらしい成績を收められています。

お花は生き物です。どんな小さな花もきれいに咲こうとがんばっている。だか

待望の同窓会員名簿が完成しました。より正確な名簿にするため各クラスから代表者に出ていただき、綿密な調査を重ねて出来たものです。

今回の名簿の便利なところは、氏名索引が付いたことです。現姓でも旧姓でもひけるようになっています。また、クラス毎に担任の先生名があります。要望があれば市、町、単位でも出すことも可能になりました。

この名簿の便利さは、コンピュータ化したからということもありますが、不明の方を八方手を尽くして調べていただいだクラス代表者の努力の結果が土台になっています。

フルに活用されることを願いつつ、完

成を喜びたいと思います。

ら花たちがいつも最高の美しさでいろいろ手伝つてあげたい。これからも老舗のれんを守りながら、時代に合つたやり方でお店を充実させていきたい、そしてお花を通じてお客様に潤いのある生活を送つてもらえるよう努力していきた

とても
便利
です

同窓会員名簿 完成

(昭和四十六年卒 畑山みちこ 記)

制服人形



〔制服の歴史〕 九里学園同窓会

三種類

1枚 1.000円

春



Matsuura Girls' High School 同窓会

トコトカードが
に なつました

冬



Matsuura Girls' High School 同窓会

元気なお姿に接し、とても感動いたしました。帰路母校に立ち寄り、校舎を案内していただきました。私がいたなどとまるで女子高生に戻ったかのように、当時の色々な事が思い出され、楽しい刻を過ごしました。笑顔で、再会を誓いました。



於：小野川 寿宝園

卒業してから30年

懐かしの41年卒集合

(昭和四十一年卒)

相田てい子

十一月八日、小野川温泉に一泊し、

十一年卒業の学年会を開催いたしました。
「九里の友の集い」と題し、当日六十
余名のなつかしい友があつまり、当時お
世話になつた先生方にも出席していただ
きました。

卒業してから三十年の節し目という事
と、六月の同窓会の席で、学年全体で会
いたいとの声がきっかけとなりました。
各クラスより一名ずつ幹事が出て、みん
などの再開を楽しみに、手さぐりで準備
を始めました。

当団は三十年の年月などあつというま
に吹つとんでしまい、その当時の楽しかつ
た思い出や、なつかしい友との再会に話
しが尽きずに、夜の更けるのも忘れて、
とても楽しいひと時を過ごす事が出来ま
した。翌朝、九里茂三先生もかけつけで
くださり、皆なつかしく思うと共に、益々
元気なお姿に接し、とても感動いたしま
した。帰路母校に立ち寄り、校舎を案内
していただきました。私達

● 同窓会員名簿が出来ました。大変便利
です。クラス会、支部活動に活用して下
さい。

● 住所の変更がありましたら高校事務局
へも御連絡下さい。

● テレフォンカードが三種類になりま
した。事務局で扱っています。クラス会
学年会等の記念にお買い求め下さい。

● 平成九年度の総会は六月二十九日(日)
になります。当番学年は卒業年に二と
三のつく学年です。

● 今年の卒業生は、二百八十一名で平成
九年度の同窓会の新会員になります。
どうかよろしくお願ひいたします。

後記 集編

早いもので平成も9年目になりました。同窓生の活躍や生き方に触れるたび、編集委員は励まされたり、感動したりしています。

どうか、同窓生の情報を寄せ下さい。

